

主日礼拝

2024年07月14日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「ヤコブよ、あなたを創造された主は
 イスラエルよ、あなたを造られた主は
 今、こう言われる。
 恐れるな、わたしはあなたを贖う。
 あなたはわたしのもの。
 わたしはあなたの名を呼ぶ。」 (イザヤ書 43 : 1)

頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に
 グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

交読詩編 54:3~9a

司式者：神よ、御名によってわたしを救い
 会衆：力強い御業によって、わたしを裁いてください。
 司式者：神よ、わたしの祈りを聞き
 会衆：この口にのぼる願いに耳を傾けてください。
 司式者：異邦の者がわたしに逆らって立ち
 会衆：暴虐な者がわたしの命をねらっています。
 一同：彼らは自分の前に神を置こうとしないのです。
 司式者：見よ、神はわたしを助けてくださる。
 会衆：主はわたしの魂を支えてくださる。
 司式者：わたしを陥れようとする者に災いを報い
 会衆：あなたのまことに従って
 彼らを絶やしてください。
 司式者：主よ、わたしは自ら進んでいけにえをささげ
 一同：恵み深いあなたの御名に感謝します。
 主は苦難から常に救い出してくださいます。

賛美 7-1,4,5「ほめたたえよ、力強き主を」

Lobe den Herren, den mächtigen König
 詞：Joachim Neander, 1650-1680
 LOBE DEN HERREN
 曲：Erneuerten Gesangbuch, 1665



1 ほめたたえよ、ちからつよき主を。
 4 ほめたたえよ、めぐみふかき主を。
 5 ほめたたえよ、ひかりのみかみ

わがこころよ、いましもめさめて、
 いのちの雨、上より注がれ、
 生けるものよ、そのみ名たたえよ。

たてごとかきならしつ つみ名を
 つきせぬそそのい つくしめこ
 めぐみをとわにわすれず、こと

ほめまつれぬ。
 あらわれぬ。
 うたえ、アーメン。

- 1 ほめたたえよ、^{ちからつよ}力強き主を。
 わが^{こころ}心よ、今しも^{いま}目さめて、
 たてごと ^{かき}ならしつ つきせぬ ^{その}いつくしみ
^み名をほめまつれ。
- 4 ほめたたえよ、^{めぐみ}恵み深き主を。
 いのちの^{あめ}雨、上より^{うへ}注がれ、
 つきせぬ ^{その}いつくしみ
^{あらわ}ここに現れぬ。
- 5 ほめたたえよ、^{ひかり}光のみ神を。
 生けるものよ、その^み名たたえよ。
 恵みを ^{とわに}忘れず、
 共に^{とも}歌え、^{うた}アーメン。

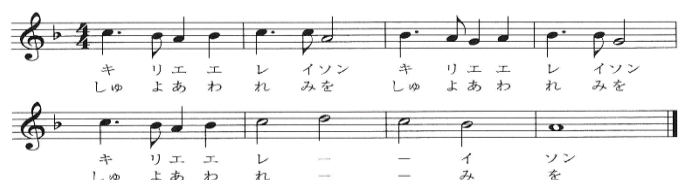
祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは ^み名をあがめさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン
 しゅよあわれみをしゅよあわれみ

キリエ エレ - - イソン
 しゅよあわれ - - みを

聖書 使徒言行録 27:33～44

新約(新共同訳)P269

33 夜が明けかけたころ、パウロは一同に食事をするように勧めた。「今日で十四日もの間、皆さんは不安のうち

に全く何も食べずに、過ごしてきました。34 だから、どうぞ何か食べてください。生き延びるために必要だからです。あなたがたの頭から髪の毛一本もなくなることはありません。」35 こう言ってパウロは、一同の前でパンを取って神に感謝の祈りをささげてから、それを裂いて食べ始めた。36 そこで、一同も元気づいて食事をした。37 船にいたわたしたちは、全部で二百七十六人であった。38 十分に食べてから、穀物を海に投げ捨てて船を軽くした。

39 朝になって、どこの陸地であるか分からなかったが、砂浜のある入り江を見つけたので、できることなら、そこへ船を乗り入れようということになった。

40 そこで、錨を切り離して海に捨て、同時に舵の綱を解き、風に船首の帆を上げて、砂浜に向かって進んだ。41 ところが、深みに挟まれた浅瀬にぶつかって船を乗り上げてしまい、船首がめり込んで動かなくなり、船尾は激しい波で壊れだした。42 兵士たちは、囚人たちが泳いで逃げないように、殺そうと計ったが、43 百人隊長はパウロを助けたいと思ったので、この計画を思いとどまらせた。そして、泳げる者がまず飛び込んで陸に上がり、44 残りの者は板切れや船の乗組員につかまって泳いで行くように命令した。このようにして、全員が無事に上陸した。

賛美 60 「どんなにちいさいことりでも」

詞：菅千代、1926-

曲：広瀬重平、1930-2008

1 「どんなにちいさいことりでも
2 「なまえもしらないののはなも
3 「よいこになれないわたしでも

かみさまはそだててくださる」って、
かみさまはさかせてくださる」って、
かみさまはあいしてくださる」って、

イエスさまのおことば。
イエスさまのおことば。
イエスさまのおことば。

- 1 「どんなにちいさいことりでも
かみさまはそだててくださる」って、
イエスさまのおことば。
- 2 「なまえもしらない野のはなも
かみさまはさかせてくださる」って、
イエスさまのおことば。
- 3 「よいこになれないわたしでも
かみさまはあいしてくださる」って、
イエスさまのおことば。

説教 「すべての人の救いのために」

賛美 510 「主よ、終わりまで」

O Jesus, I have promised
詞：John E. Bode, 1916-1974

ANGEL'S STORY
曲：Arthur H. Mann, 1890-1929

1 主よ、おわりまで しもべとして
2 この世のさかえ目を惑わし、
3 しずかにきよいみ声により
4 主は約束を かく守り、

あなうたにつかえし たがいます。
ゆわくのこだえみ たみにちす。
おたりくこさい、主よ、みことば。
おわりの日ま で みち びか れる。

世の たたか い は はげしくても、
てき はそとにら も うちにもあて、
こたろのあこら ふち き あれても、
わこしはここにちか いを たて、

主が みか た なら おそれはない。
おま もりく ださい、主よ、わたしを。
きか せてく ださい、主よ、みこえを。
主よ、おわり ま で し た が い ます。

- 1 主よ、おわりまで しもべとして
あなたに仕え しがいます。
世のたたかいは はげしくても、
主が味方なら 恐れはない。
- 3 静かにきよいみ声により
お語りください、主よ、みことば。
心のあらし 吹きあれても、
聞かせてください、主よ、み声を。
- 2 この世のさかえ目を惑わし、
誘惑の声 耳に満ちて、
敵は外にも 内にもある。
お守りください、主よ、私を。
- 4 主は約束を かく守り、
終わりの日まで みちびかれる。
私はここに 誓いを立て、
主よ、終わりまで しがいます。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 袁 紅
説教 向井 希夫牧師
奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。